

ご報告：チリ共和国（パイン消防団） 消防車寄贈事業

平成29年度在チリ日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、チリ共和国パイン消防団へ日本の自治体より無償譲渡いただいた消防車1台を寄贈しました。

現地到着後2018年10月、日本の自治体消防本部のご協力で安全な運用に関する技術指導を行い、11月に日本大使館立会いの元引き渡し式が行われましたので、ご報告いたします。

<現地写真>

<p>1</p> <p><研修></p> <p>取扱い方法を説明する比企広域消防本部 東松山消防署 消防第1課 正谷健策 救助係長(左)、警防課 小林 裕 警防係主任(中央奥)</p> <p>研修場所はチリ共和国パインで30年以上前から操業する日系企業アルヒナートスチリ株式会社の敷地をお借りした。</p> <p>隊員は全てボランティアで構成され、仕事の合間を縫って参加した。</p>	
<p>2</p> <p><研修></p> <p>救助資機材の説明を行う正谷救助係長(右下)と神谷警防係主任(右奥)</p> <p>千葉県夷隅郡市広域市町村圏事務組合から供出を受けた救助工作車へ、北海道森町から供出を受けた油圧救助資機材を積載して寄贈した。</p> <p>パイン区は幹線道路における事故が多く、かねてから救助専用車両を必要としていた。</p>	

<p>3</p>	<p><研修></p> <p>救助資機材の説明、活用事例を説明する正谷救助係長(中央)</p> <p>敷地内へ持ち込んだ廃車バスを事故車両に見立て、負傷者救出を想定した実践的な研修を行った。</p>	
<p>4</p>	<p><お披露目会></p> <p>研修の成果を関係者に披露する団員達</p> <p>各自が役割に徹し、安全に配慮しながら慎重に取り組む姿勢が見られた。</p>	
<p>5</p>	<p><研修></p> <p>研修の修了式</p> <p>在チリ日本国大使館 倉田進 一等書記官(左端)が立会いの元、参加者へ修了証書を手渡した。</p>	

<p>6</p> <p><引渡し式></p> <p>研修後の 2018 年 11 月 24 日、引渡し式会場となったパイネ消防団第一分団の消防署</p> <p>当日は日本大使館、パイネ区役所、消防団、報道など多くの人が集まった。</p>		
<p>7</p> <p><引渡し式></p> <p>テープカットを行う関係者</p> <p>前列右端から株式会社キミカ笠原文善 代表取締役、チリ共和国パイネ区ディエゴ・ベルガーラ区長、在チリ日本国大使館 平石好伸 特命全権大使、パイネ消防団クリスティン・ガラス団長</p>		
<p>8</p> <p><引渡し式></p> <p>ガラス団長(右端)、パイネ消防団エクトル・オリベ隊長(中央)から記念の盾を受け取る平石大使</p>		